

調 査 の 要 領

1 調査事項

- (1) 魚種別漁業種類別漁獲数量
- (2) 魚種別漁業種類別漁獲金額

2 調査時期

毎 月

3 調査範囲

本県内に水揚げされたすべての海面魚介類（運搬魚介類を除く。）

4 調査方法

調査員が担当区域内的の海面漁業協同組合、魚市場、その他の団体等を毎月巡回し、これらの団体等において作成した台帳等から資料を収集する方法

5 利用上の注意

この調査は属地計上です。属地計上とは、生産物が水揚げされた地域に漁獲量等を計上することをいいます。

また、数値は四捨五入してあるので、各表や統計表中の構成比の和は100%にならない場合があります。

6 記号の表示

「※」：おいらせ町及び階上町の数値については、八戸市と三沢市の数値と重複する魚種があるため、一部合計値に加算していません。

結果の概要

1 漁獲数量及び漁獲金額

(1) 概況

令和4年の青森県の漁獲数量は131,937トン、漁獲金額は394億561万円となった。これを前年と比較すると漁獲数量では12,672トン(8.8%)減少し、漁獲金額では66億5,455万円(20.3%)増加した。

(2) 主な増減要因

漁獲数量が前年と比較して減少した主な要因は、「まいわし」、「さば」の漁獲数量が減少したことによるものと考えられる。

漁獲金額が前年と比較して増加した主な要因は、「ほたてがい」、「するめいか」等の漁獲金額が増加したことによるものと考えられる。

(3) 過去5年間の平均との比較

過去5年間の平均と比較すると、漁獲数量では53,275トン(28.8%)減少し、漁獲金額では28億5,580万円(6.8%)減少した。

漁獲が好調であった魚種は「すけとうたら」(漁獲数量対平年比300.8%)、「にじます」(229.8%)等であった。

一方、漁獲が低調であった魚種は「さば」(15.3%)、「まいわし」(45.8%)等であった。

(4) 過去10年間の平均との比較

過去10年間の平均と比較すると、漁獲数量では73,841トン(35.9%)減少し、漁獲金額では70億6,652万円(15.2%)減少した(表、図1)。

表 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

年次	漁獲数量		漁獲金額	
	数量(トン)	対前年増減率(%)	金額(百万円)	対前年増減率(%)
平成5年	554,744		83,347	
平成10年	368,219		73,875	
平成15年	280,518		51,655	
平成20年	261,354		53,171	
平成21年	289,027	10.6	51,187	△ 3.7
平成22年	246,690	△ 14.6	51,825	1.2
平成23年	194,265	△ 21.3	46,118	△ 11.0
平成24年	227,507	17.1	44,272	△ 4.0
平成25年	185,855	△ 18.3	44,660	0.9
平成26年	218,644	17.6	48,024	7.5
平成27年	250,029	14.4	52,928	10.2
平成28年	249,653	△ 0.2	63,530	20.0
平成29年	206,250	△ 17.4	57,104	△ 10.1
平成30年	216,718	5.1	45,546	△ 20.2
平成31年	191,322	△ 11.7	41,723	△ 8.4
令和2年	167,188	△ 12.6	34,183	△ 18.1
令和3年	144,610	△ 13.5	32,751	△ 4.2
令和4年	131,937	△ 8.8	39,406	20.3
平成24年～令和3年 までの平均 (A)	205,778		46,472	
令和4年／(A)%	64.1 %		84.8 %	

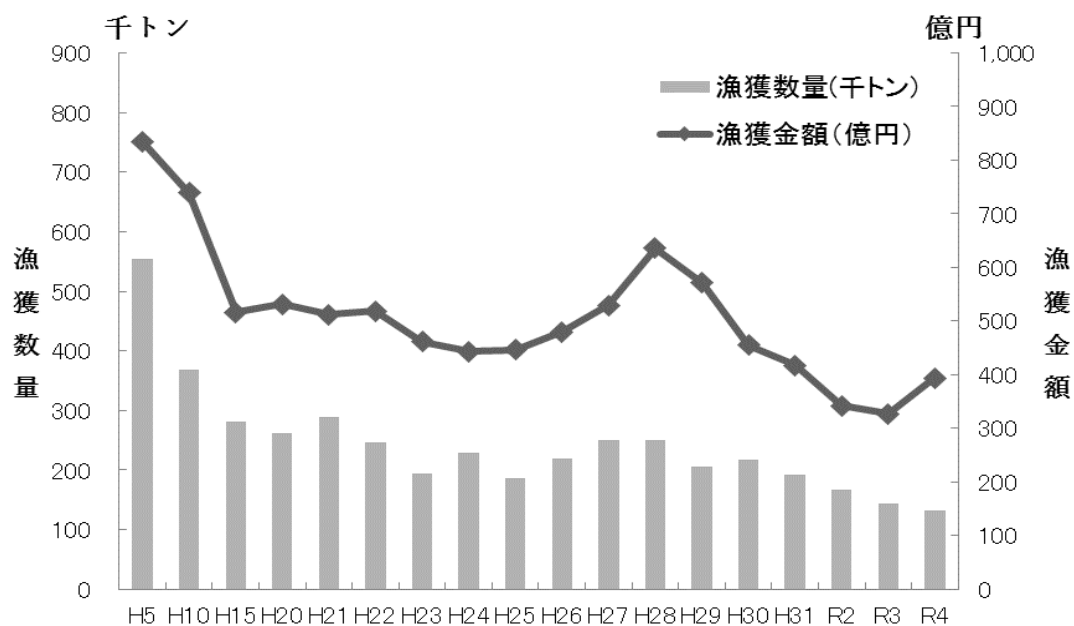


図1 年次別漁獲数量及び漁獲金額の推移

2 月別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 月別漁獲数量

令和4年の漁獲数量を月別にみると、5月が28,361トンで最も多く全体の21.5%を占め、次いで7月の27,565トン(20.9%)、6月の24,932トン(18.9%)となっている(図2、第3表)。

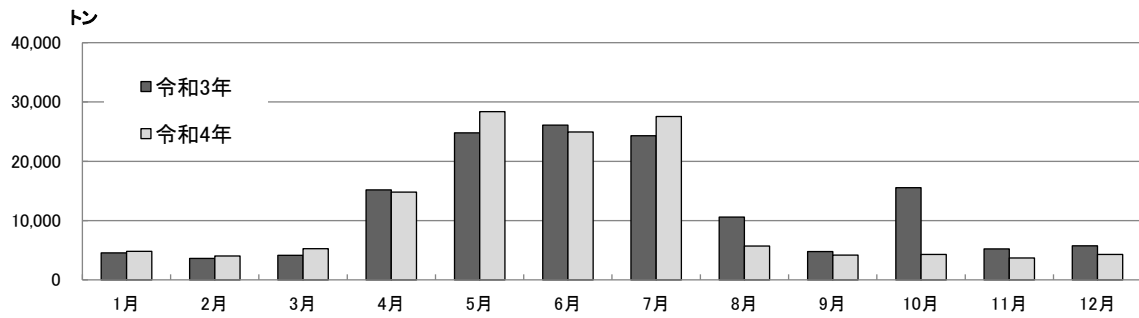


図2 月別漁獲数量

(2) 月別漁獲金額

令和4年の漁獲金額を月別にみると、7月が66億3,663万円で最も多く全体の16.8%を占め、次いで6月の58億9,013万円(14.9%)、5月の50億9,104万円(12.9%)となっている(図3、第4表)。

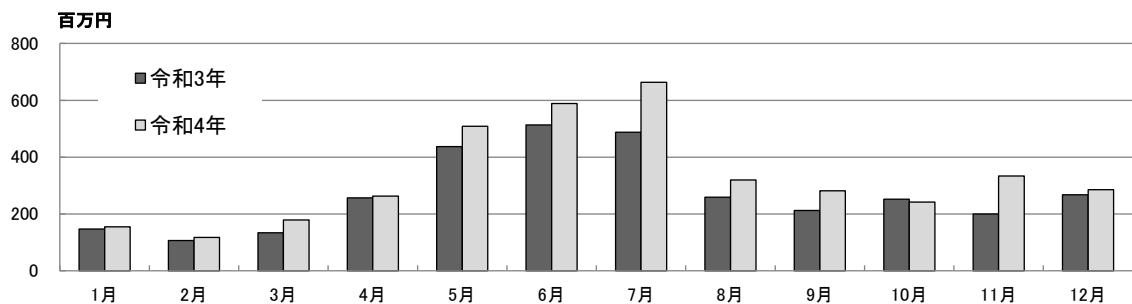


図3 月別漁獲金額

3 魚種別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 分類別漁獲数量及び漁獲金額

①分類別漁獲数量

漁獲数量について魚類、貝類等の分類別にみると、ほたてがい等の「貝類」が78,739トンで最も多く全体の59.7%を占め、次いでまいわし等の「魚類」38,987トン(29.5%)、「その他の水産動物」12,538トン(9.5%)、「藻類」1,673トン(1.3%)の順となっている。

前年と比較すると、「魚類」は12,781トン(24.7%)減少、「貝類」は236トン(0.3%)増加、「その他の水産動物」は202トン(1.6%)減少、「藻類」は74トン(4.6%)増加した(図4、第5表)。

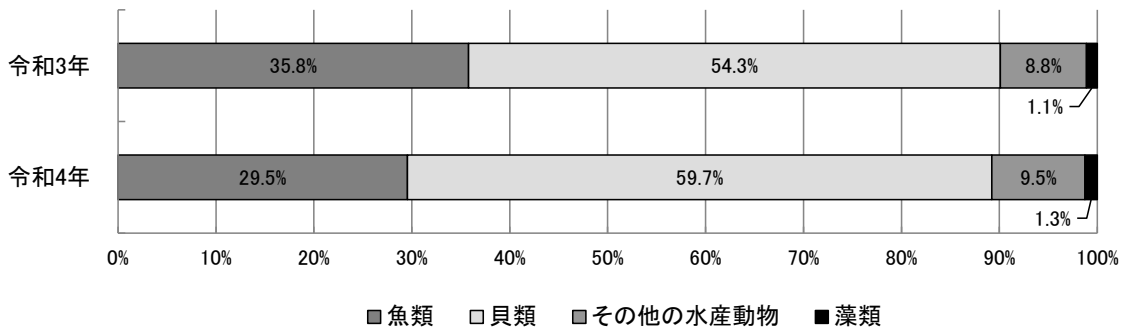


図4 分類別漁獲数量の構成比

②分類別漁獲金額

漁獲金額を分類別にみると、「貝類」が160億801万円で最も多く全体の40.6%を占め、次いで「その他の水産動物」130億5,436万円(33.1%)、「魚類」97億7,288万円(24.8%)、「藻類」5億7,036万円(1.4%)の順となっている。

前年と比較すると、「魚類」は7億8,072万円(8.7%)増加、「貝類」は21億1,077万円(15.2%)増加、「その他の水産動物」は36億1,468万円(38.3%)増加し、「藻類」は1億4,838万円(35.2%)増加した(図5、第6表)。

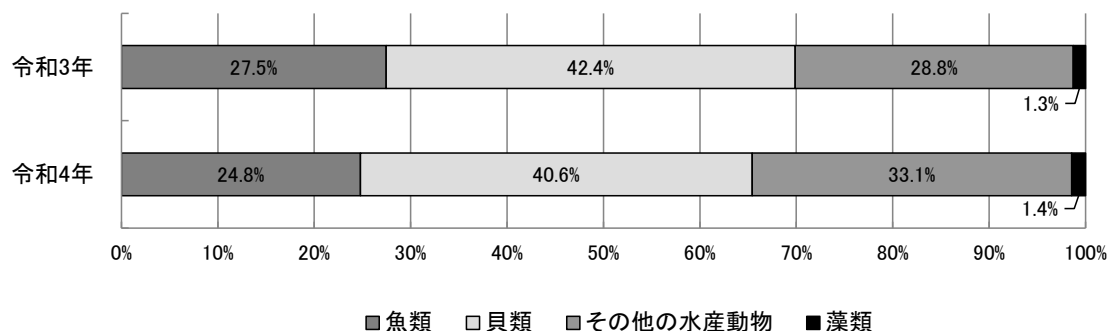


図5 分類別漁獲金額の構成比

(2) 主な魚種別漁獲数量及び漁獲金額

①主な魚種別漁獲数量

主な魚種別の漁獲数量及び構成比をみると、「ほたてがい」78,144トン（構成比59.2%）、「いわし類」13,667トン（10.4%）、「するめいか」6,579トン（5.0%）、「すけとうたら」4,928トン（3.7%）、「たら」4,869トン（3.7%）、「さば」4,124トン（3.1%）などとなっている。

前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な魚種及び増加数量は「すけとうたら」2,050トン（71.2%）となっている。

一方、漁獲数量が減少した主な魚種及び減少数量は、「さば」8,243トン（対前年減少率66.7%）、「いわし類」6,538トン（32.4%）などとなっている（図6、第1表、第7表）。

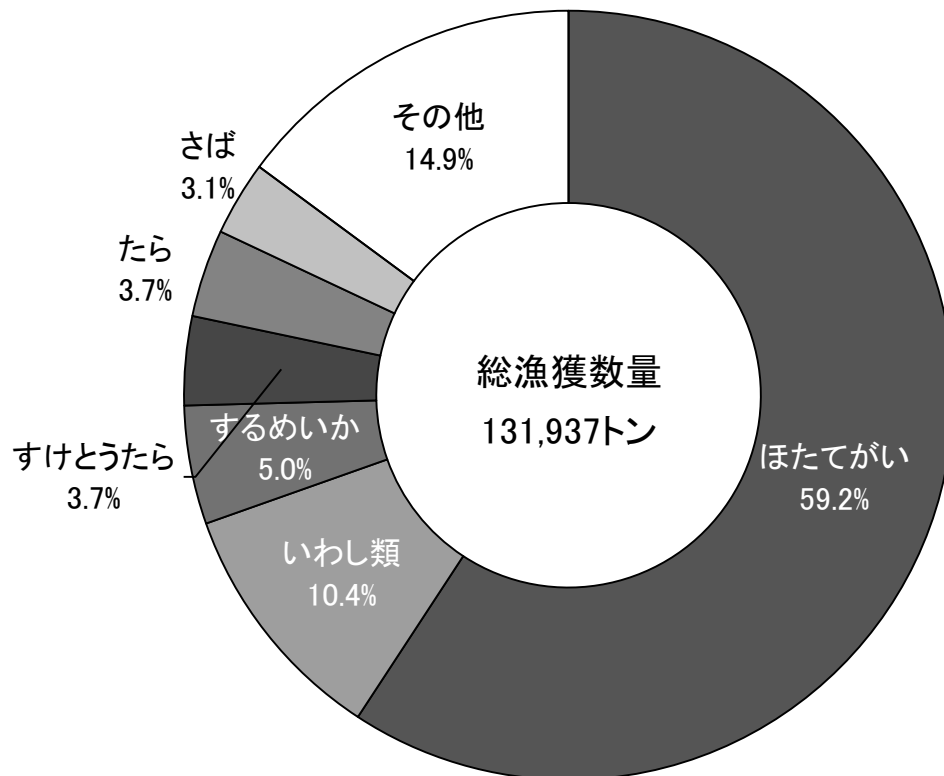


図6 主な魚種別漁獲数量の構成比

②主な魚種別漁獲金額

主な魚種別の漁獲金額及び構成比をみると、「ほたてがい」156億2,984万円（構成比39.7%）、「するめいか」56億839万円（14.2%）、「まぐろ」25億908万円（6.4%）、「なまこ」24億8,410万円（6.3%）、「あかいか」22億7,874万円（5.8%）、「やりいか」11億6,691万円（3.0%）などとなっている。

前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な魚種及び増加金額は「ほたてがい」20億1,013万円（対前年増加率14.8%）、「するめいか」16億4,141万円（41.4%）などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な魚種及び減少金額は「さば」6億323万円（対前年減少率59.0%）、「さけ」1億1,613万円（19.3%）などとなっている（図7、第1表、第8表）。

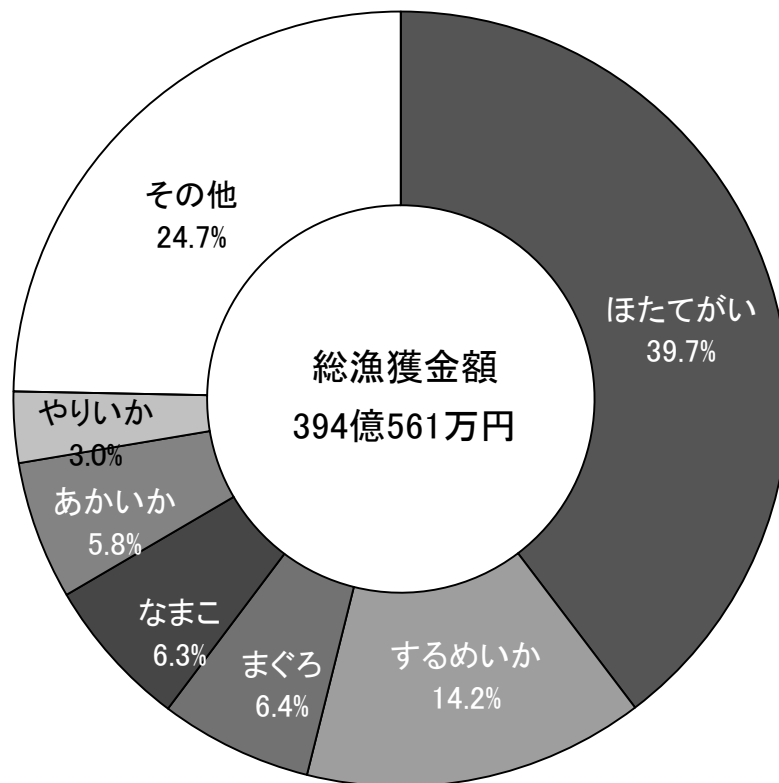


図7 主な魚種別漁獲金額の構成比

4 漁業種類別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 漁業種類別漁獲数量

主な漁業種類別の漁獲数量及び構成比をみると、「養殖業」が79,562トン(構成比60.3%)で最も多く、次いで「まき網漁業」12,786トン(9.7%)、「いか釣漁業」6,897トン(5.2%)となっている。

前年と比較すると、漁獲数量が増加した主な漁業種類及び増加数量は、「底建網漁業」1,882トン(対前年増加率49.2%)、「沖合底曳網漁業」1,524トン(21.4%)などとなっている。

一方、漁獲数量が減少した主な漁業種類及び減少数量は、「まき網漁業」15,505トン(対前年減少率54.8%)、「大型定置網漁業」722トン(20.7%)などとなっている(第9表)。

(2) 漁業種類別漁獲金額

主な漁業種類別の漁獲金額及び構成比をみると、「養殖業」が163億8,968万円(構成比41.6%)で最も多く、次いで「いか釣漁業」57億68万円(14.5%)、「沖合底曳網漁業」29億8,849万円(7.6%)となっている。

前年と比較すると、漁獲金額が増加した主な漁業種類及び増加金額は、「養殖業」21億9,674万円(対前年増加率15.5%)、「いか釣漁業」14億5,507万円(34.3%)などとなっている。

一方、漁獲金額が減少した主な漁業種類及び減少金額は、「まき網漁業」7億5,276万円(対前年減少率49.6%)となっている(第10表)。

5 市町村別漁獲数量及び漁獲金額

(1) 市町村別漁獲数量

市町村別漁獲数量の構成比をみると、平内町が 38,766 トンで最も多く全体の 29.4%を占め、次いで八戸市 21.8%、青森市 11.5%、外ヶ浜町 9.3%、むつ市 6.0%の順となっている。

前年と比較してみると、漁獲数量が増加したのは、むつ市 1,192 トン（対前年増加率 17.9%）、外ヶ浜町 732 トン（6.3%）、今別町 505 トン（82.5%）、ほか 7 市町村となっている。

一方、漁獲数量が減少した市町村は、八戸市 15,556 トン（対前年減少率 35.1%）、野辺地町 401 トン（16.9%）、青森市 307 トン（2.0%）ほか 9 市町村となっている（図 8、第 11 表）。

(2) 市町村別漁獲金額

市町村別漁獲金額の構成比をみると、八戸市が 91 億 4,231 万円で最も多く全体の 23.2%を占め、次いで平内町 22.0%、むつ市 7.9%、青森市 7.3%、外ヶ浜町 7.0%の順となっている。

前年と比較してみると、漁獲金額が増加した市町村は、八戸市 12 億 2,618 万円（対前年増加率 15.5%）、平内町 11 億 8,438 万円（15.8%）、むつ市 6 億 8,023 万円（27.7%）ほか 18 市町村となっている。

一方、漁獲金額が減少した市町村は、おいらせ町 5,097 万円（対前年減少率 25.3%）となっている（図 9、第 12 表）。

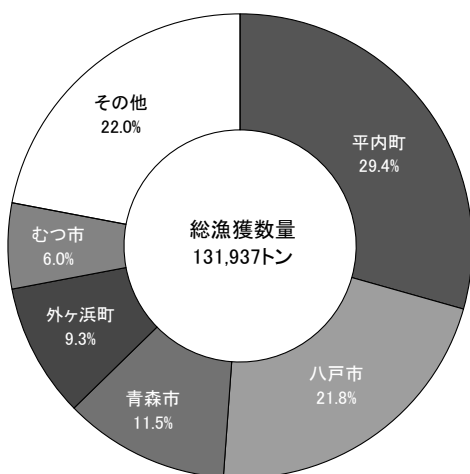


図 8 市町村別漁獲数量の構成比

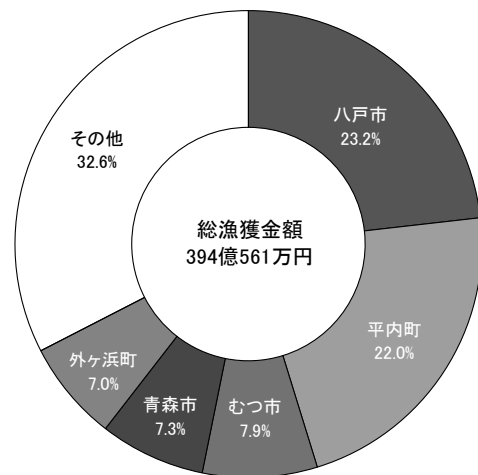


図 9 市町村別漁獲金額の構成比